

おたしからあなたへ

No.41

令和2年1月 発行

ふきのとう

社会福祉法人 相双記念会
障害者支援施設
ふきのとう苑
福島県相馬市富沢字松道19
TEL 0244-35-3090
FAX 0244-35-1171
MAIL:info@fukinotouen.jp
編集責任者 広報委員会



謹
賀
新
年

2020

社会福祉法人 相双記念会の理念

基本
理念

いつも元気な風が吹いている施設の具現化を図る
ため私達は絶えず尊重、追及、共生の精神をもって
利用者に接します

『令和の時代を迎えて』



社会福祉法人相双記念会

理事長 宮田 弘幸

令和二年の年明けとともに、新たな元号による最初のお正月、新年あけましておめでとうございます。法人役員の皆様をはじめ、施設ご利用の利用者及びご家族の皆様、勤務されている職員の皆様のご健康とご多幸を、心より祈念いたします。今年は異常と言われるぐらいの暖冬となり、体調管理の難しさもあり気を引き締めて行きたいところです。

さて、人生百年という言葉が聞かれる昨今社会福祉法人を取り巻く環境は益々厳しさを感じるこの頃です。特に、介護人材の不足はこの地域の特徴でもあり、今後どのように確保していくか、近々の課題となっております。当法人としては、「少子・高齢化」の現実を直面し、五年前より定年の年齢を六十五歳とし、その後七十歳までは一年更新の嘱託職員として、再雇用の継続をしております。また、希望する職員については、体調管理をするとともに、七十歳を超えての勤務も受け入れております。

また、福島労働局の指導を受け、働き方改革の一環となっている勤務体制について、法人の規定を設けました。特に有給休暇の年間五日

以上の取得や、育児休業の二年間までの延長、介護休業の九十三日までの取得、育児休暇及び介護・看護休暇等の整備をしております。さらに、ハラスメント対策においても、各種別（セクハラ・マタハラ等）の対応ができるよう相談窓口を設置し、職員への周知をしております。

災害対策においては、昨年の台風の被害（二週間断水）への対策も検討しているところです。具体的には、三年以内を用途に、貯水槽の増設や非常電源（自家発電機）の整備も考えているところです。

終わりに、おかげさまで、当法人の三事業所「障害者支援施設ふきのとう苑」、「グループホームふきのとう」、「相談支援事業所すずらん」も安定した運営状況にあり、今後益々充実したサービスの支援を行えるよう支援していくつもりです。

今後とも、ご指導並びにご鞭撻を、何卒宜しくお願い申し上げます。

『令和の新年を迎えて』



障害者支援施設 ふきのとう苑

施設長 木口 幸雄

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、新元号の新年にあたり、当施設運営に対するご理解とご支援を賜り、関係各位の皆様には心より御礼申し上げます。

また、令和新年のスタートとして、ふきのとう苑施設並びに利用者・家族の皆様、職員及び法人役員の皆様の健康を祈念し、一月十五日に「新年御祈祷」の神事を行いました。

さて、障害者を取り巻く社会保障制度において、順次法整備等がなされてきており、今後社会参加のできやすい環境整備が整っております。その中でも、原点にかえるという意味から「権利擁護」について、今年一年間は取り組む予定でおります。

まず、指標となるものとして、「全身協の倫理綱領」が挙げられます。八項目ある中で、①利用者一人ひとりのその人らしい生活の支援、②日々の実践を検証し、利用者へ安全、安心、快適なサービスの提供、二項目について職員全体で取り組みます。

第一の項目については、利用者の「意思決定支援」を図ることで取り組みます。利用者（家族等）のニーズを的確にとらえ、個別支援計画に位置

付け、その人らしい生活が送れるよう支援します。そこには、職員による公平公正な処遇対応が求められます。決して不適切な接遇等はあってはならないので、職員による相互評価や声の掛け合い等の自浄できる環境整備に努めます。

第二の項目についても、リスクマネジメントをはじめ、苦情解決やサービスの質の向上を日々対応できる環境づくりに努めます。そのためにも、「P→D→C→A」サイクルの徹底を図り、利用者の皆様が安全で安心な、快適生活を送ることができるよう、職員一同取り組んでいきます。併せて、職員の言語環境を適正なものにすることで、利用者が不快な思いをすることのないよう特に重点的に取り組みます。

終わりに、昨年度受審した「福祉サービス第三者評価」の情報公開について準備が整いましたので、新年度までに重要事項説明書及びホームページへの掲載ができるようになります。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

新年のごあいさつ



グループホーム ふきのとう

管理者 宮田 恵子

新年あけましておめでとうでございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

令和最初の元旦は、本当に穏やかで静かな朝となりました。私も家族と富士山山頂に昇る初日の出をテレビで見て素敵だなど感動しております。グループホームふきのとうでは、雑煮とおせちで新年を迎えました。もちろん、今年も涼ヶ岡八幡神社へ初詣をし、今年一年の無病息災を願いました。

グループホームは早いもので、開所から四年の歳月が流れました。利用者様も共同生活に慣れてきたように感じます。職員は、毎日が支援方法の検討会です。お一人お一人のニーズに応えるために、職員のコミュニケーション能力が試されていると感じます。それでも、利用者様が元気に日中活動に出かけることができるようになったときは、ほっと胸をなでおろすことができます。

開所当初は、理想を頭で追いかけて

ばかりで、利用者様をよく理解できないことが多々あったように思います。

でも、理想のグループホームを目指すからこその試練であり、悩みでもあったと思います。病院や施設から地域移行先の福祉資源としての役割を常に初心の気持ちで、利用者様に寄り添い、彼女たちのその時の気持ちを受容してあげられるそんな職員になりたいと思います。

五年目になる今年度の目標は、「みんなが安心して、毎日楽しく過ごすことができる、やさしいグループホームにします」と、あえて、とてもハードルの高い目標にしました。利用者様の人権を守り、ありのままの姿を尊重しながら、安定した生活を送れるように支援してまいります。

今年度、ふきのとう苑では新たに「虐待防止委員会」を設置しました。法人としても「利用者虐待防止マニュアル」を作成し、全職員へ配布、職員研修を実施、介護職員として福祉サービスの質の向上に努めているところとあります。グループホームも同様に研修を実施、障害者にやさしい施設を目指してまいります。今年も職員一同よろしく願っています。

東西南北

家族会

会長 市澤 廣子

新年おめでとうございます。穏やかな天候に恵まれ、暖冬といわれる今年は、例年よりはインフルエンザの流行もほどほどといったところでしょうか。

ふきのとう苑利用者の皆様、何事もなく元気で、桜咲く春を迎えられるようにお祈りするばかりです。

相馬市で迎えた新年の朝、「二年の計は元旦にあり」と言われた昔の癖が抜けず、ついついスケジュールノートを出し今年の予定などを書き込み始めたのですが、そこでハッと目に飛び込んできた文章、「『今日からあと10年は頑張る』という決意を毎日する」101歳の現役のお医者様の言葉。

振り返ってみれば、この5・6年は、自分の歳がやけに気になり、実質がなくなってしまう人間

関係や、自分には必要ない儀礼・慣習などには遠慮してもらい、大事なものを守り、ストレスなしでシンプルに生きるということを心掛けてきました(世間を狭くしてきたとも言いますが)。夫の定年間に始めた仕事も、大切なものと思いつつ「老害」と言われるのは嫌だしなあ」と、いつ辞めるかが、頭を離れたことはありませんでした。

そうか、老け込む準備ばかりしていたのか。

古希を迎える今年、やれることは地道にやってみよう、101歳のお医者様に励まされ、そう思える新しい年になりました。

折りしも、ふきのとう苑では「虐待防止委員会」の立ち上げがあり、家族会の代表としてお声をかけていただきました。足繁く訪問することはできませんが、できるだけ多くの利用者の方々と職員の方々とコミュニケーションを密にしてゆきたいものです。

職員の皆様、家族会の皆様、本年もよろしく願ひ申し上げます。



Merry Christmas



イオンさんより
サプライズ
プレゼント



利用者様紹介

利用者様今井紀子様と職員鈴木(睦)との談話

今日はパズルやっていらっしゃるのね。

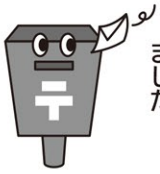
クリスマスプレゼントにもらったの。そうでしたか、良かったですね。ほかになにが楽しみですか。

マラソンとかドラマ見るの好きなの。

そういうえばよく見えますねえ。佳恵ちゃん(利用者様)とお話するのも楽しみ。

そうですね。「だいすきよお」ってところで、毎日文字の練習されていますが、どうですか。

高野病院(以前の病院)に手紙書きたいの。それでは頑張ってくださいね。今日はどうもありがとうございました。



利用者様道中内茂様と職員鈴木(睦)の談話

カラオケがとても上手ですね。いや、そんなこともないけどね…。

津軽海峡とかよくうたわれますよね。

そんなこともないけどもね…お習字もされるそうですね。いや、うまいというわけでもなくて好きなんだね…

今日は何を歌ってきたんですか。贈る言葉。ブランドーグラスも歌ったよ。

山口洋子の作詞だからねえ、(おれは)石原裕次郎と同じ年だからねえ。

これでおよしよーそんなにつよくないの…。…と話しの尽きない道中内様です。今日はありがとうございました。



研修報告—職員スキルアップ研修会—

介護部 渡部知宏



今回は令和元年 12月3日 4日の2日間、神奈川県川崎市で行われた「全国身体障害者施設協議会第9回職員スキルアップ研修会」に参加してきました。

初日、全身協顧問徳川氏の特別講演では、現在までの身体障害者が直面してきた様々な問題の歴史を実際の経験を交え講演していただき、障害者施設での経験が浅い私にとつては実に驚くことが多く、勉強になりました。これから何をすべきか、何に取り組むべきかモヤモヤしていたが少しヒントがあったような感じがしました。

次にシンポジウムでは「障害とは何か」というテーマで立場の違う方たちの考えを聞けて勉強になりました。東洋英和女学院大学大学院教授石渡氏の津久井やまゆり園事件の概要と経緯やこれからの障害者の地域移行、地域生活に向けた取り組み、DPI日本会議事務局長佐藤氏の実際に施設入所の中で経験した貴重な話などとても興味深かったです。また、演習では、最終回に全国の施設職員の中4人のグループ

で「排泄」に関しての4つのテーマについて議論し意見をまとめ記録し、発表しました。短時間の中でグループで自分は何をすればよいのか考えながら他者と連携するのがとても刺激的で面白い時間でした。日々の業務の中での「気付き」や、やはり利用者様や他職員との信頼関係は重要なのだと感じました。この研修は苑内での職員会議で発表し他職員の為にかしらヒントになればと思っております。

最後に文教大学 教授星野氏による「障害者福祉サービス従事者におけるホスピタリティ意識の形成」の公演があり「職員が自分の今までのサービスで足りると考えており、利用者様の意識が変化していることに気付いていない」「福祉だから、正しいことをしているからという甘えはないのか」などがあり、自分自身に問いかけることができ良い経験になりました。今回の研修で得たことを今後の業務に反映できるよう他職員とできる事から取り組んでいきたいと思っております。



じゅんや日記

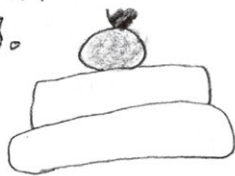
No.12

「もちつき大会」

① 1月8日、ふきのとう苑でもちつき大会が行われました。



② このもちつき大会は毎年行われているので、ふきのとう苑でとれた米を取員、入所者が合同でつくりました。



③ その日の午後のおやつには、モカースというおやつが出ました。



こんにちは、通所です

生活介護事業(通所)の活動内容を紹介します。

10月 季節外れのスイカ割り



11月 カラオケ



12月 クリスマス会



グループホームふきのとう

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
令和最初の元旦は、美味しいお雑煮とおせち料理をいただき、初春のお祝いをいたしました。今年こそは、元朝参りを目指すも断念。元日のお参りとなりました。「今年も良い年でありますように」と、初詣で祈願して参りました。神社の境内は、穏やかに凩と澄み切った気持ちよい空気が漂っていました。「皆さんの、それぞれの願いが今年叶いますように」と、職員一同こころから願っております。
職員も、こころ新たに利用者様の特性を理解し、寄り添った支援を目指してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願いたします。



こんにちは 給食室です



皆様、こんにちは。ふきのとう苑では、年に四回の残食調査を実施しております。残食調査とは、残食いわゆる食べ残しを調査する事で、利用者様の嗜好に対する傾向を把握し、新メニュー作成や今までの提供したメニューの改善に役立て、利用者の満足に貢献することを目的としています。残食調査とともに年に二回実施している嗜好調査の結果も、日々の食事に反映させております。

食事については、利用者様一人ひとりに合わせてエネルギーなど栄養価を調整して提供しておりますが、生活習慣病の予防や改善などの為には、なるべく残さず食べていただきたいと考えております。多くの利用者様に満足していただけるように施設栄養士、厨房職員とも努めてまいりますので今後ともよろしくお願致します。

おたんじょう日 おめでとうございます



10月



12月



11月



1月



あとがき

新年明けましておめでとうございます。希望溢れる一年になるよう心からお祈り申し上げます。(久)

ボランティアさんありがとうございます



川柳
もう駄目だ
川柳うまく
できません

(船山孝二)

